

2023年6月の行事予定表

1	木	祈祷会（証し会）	16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	礼拝式（野村友美師説教・呉教会）
4	日	礼拝式（永松師説教、聖餐式） 役員会	19	月	
5	月		20	火	
6	火		21	水	
7	水		22	木	祈祷会
8	木	祈祷会	23	金	
9	金		24	土	
10	土		25	日	礼拝式（T 姉奨励）
11	日	礼拝式（Y 兄奨励）	26	月	
12	月		27	火	
13	火		28	水	
14	水		29	木	祈祷会
15	木	祈祷会	30	金	

6月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。（敬称略）

編集後記

- ◇ イギリスで5月上旬に行なわれたチャールズ国王の戴冠式をテレビで見ながら、昨年のエリザベス女王の葬儀を思い出していました。
- ◇ 戴冠式の数日後の新聞論説に、「イギリスでは葬儀も戴冠式も単なるイベントではなく“礼拝”だということを認識しなければならない。」とあり、ハッとさせられました。
- ◇ 新型コロナ感染防止で、さまざまな社会活動が制限されていたあいだ、教会員は礼拝に集うことや讃美歌を精一杯歌うことを自粛してきました。
- ◇ あの日々を思い出すと、今は毎週会堂に集って敬愛する皆さんと一緒に礼拝できることを“恋い慕う”自分がいます。
- ◇ あれもこれも、決して当たり前ではない、神の恵みなのだと実感しています。

# 教会月報

2023年6月

No.385

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

## 天の父からの報い

「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意しなさい。さもないと、あなたがたの天の父のもとで報いをいただけないことになる。だから、あなたは施しをするときには、偽善者たちが人にほめられようと会堂や街角でするように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。はっきりあなたがたに言うておく。彼らは既に報いを受けている。施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

マタイ福音書 6:1~4

通常、悪い行いは人目につかないようにと考えますし、善い行いは人に見てもらおうと思うものです。いずれも人の評価を気にするからです。

主イエスさまは、人を気にするよりも主なる神さまを気にしなさいと勧められます。神さまがいつも見ておられることを意識して物事をするなら、人がいようとまいと、人が見ていようと見てまいと、その行いは変わるものではないでしょう。むしろ、隠れたところを見ておられる神さまに報いていただけるように、善い行いは人にわからないようにしなさいとおっしゃるのです。これは神さまと共に生きる信仰者ならではの生き方と言えましょう。

主なる神さまの善い行いとは、イエスさまを通して表された私たちの救いの福音そのものです。私たちの目に見えないところで神さまがどんな愛のわざを為しておられるのか、私たちはそれを知らないのです。

三浦 功 牧師(広島教会)～ 岡山教会5月21日礼拝説教要旨

# 祝ペンテコステ礼拝 2023



5月28日(日)今年のペンテコステ礼拝が行われました。ペンテコステは、教会の三大祝祭のひとつで、クリスマス・イースターと並び、イエス様が復活されて50日後に聖霊が降臨した記念日。そこで、「教会の誕生日」とも称される大事な記念日です。永松牧師より、「ペンテコステの出来事」と題して使徒言行録2章からメッセージをいただき、初代教会の始まりを目撃するようでした。礼拝後には、3月で引退された永松牧師夫妻の感謝会も行われました。16名の出席で、4年ぶりに皆でお弁当会食し、心に残るペンテコステとなりました。

感謝会では、全員がひと言ずつ永松先生、淑子先生への感謝や思い出をお話くださって、笑いあり、涙ありの幸いなひとときでした。

忘れたくない賛美歌について証ししたく存じます。  
新聖歌三二五番「歌いつつあゆま

後年、セキさんの葬儀は遺言によりキリスト教式でなされ、その葬儀でこの「山路こえて」が歌われまし

## 故 R.K.姉宅を弔問



4月30日、6名で故 R.K.姉宅を訪問し、それぞれが心に残る姉との思い出をご主人様にお伝えしました。私は、信仰者として R 姉がどのような終末を過ごされたのかとも気になっていました。

お二人は同時に別々の病院に入院されており、やっと退院し駆けつけたご主人に R 姉は「あなたと結婚して幸せでした」と手を重ねながら、三回繰り返されたそうです。初めて聞くことばにご主人は癒され、寂しさのなかにも安堵と喜びに満たされておられるのを感じました。「一生懸命にやったことがわかってもらえたら、いいんじゃないですか」と、何事にも手を抜かない夫を支え続け、これからは一人で生きていく夫に最高のエールを残された R 姉の愛に感動しました。そして、姉はその翌日に召されたそうです。

私たちは、笑みをたたえ独特な声が聞こえそうなお写真に、再会を約束しました。(S.O.)



## インタビュー!

～4月から礼拝に来られているジェフリーさんに自己紹介していただきました。～

こんにちは、私の名前はジェフリー・スディルゴです。私はインドネシア出身です。私はクリスチヤンの家族に生まれました。私は10歳のときにイエス・キリストを救い主として信じ受け入れました。私は1997年に高校を卒業した後、聖書神学校に行き、卒業してから21年間、牧師の重荷を負っています。わたしは神に仕え、人々の祝福になりたいです。



私は、2025年まで岡山大学大学院で医歯学を専攻しています。

岡山ナザレン教会にはとても良い印象を持っています。この教会にクリスチヤンの家族がいることをとてもうれしく思います。

岡山ナザレン教会は、友人の永野健一牧師(千葉県市原市ナザレン五井教会)から紹介されました。

岡山大学大学院の疫学教授・土居弘幸先生を知っています！ 私は彼から、先週ズームで学びました。今、私は公衆衛生を勉強しています。これは私が将来インドネシアで神に仕えるための備えになるでしょう。

(自己紹介文を翻訳、写真は本人提供)



## 四月証し

青木恵美子師



忘れたくない賛美歌について証ししたく存じます。

新聖歌三二五番「歌いつつあゆま

初めて目黒教会へ伺ってからおよそ半年後の一九八〇年のイースターに、桜井先生より洗礼を授けて頂き、キリスト者としての一歩を踏みだしました。その時、本当に生涯、主を見上げ主の御足の後に従い、主と共に歩みたい、そのように歩むことを許して頂きたい、いえ、弱い私を守り助けて、どうぞ生涯主と共にあらせて下さい、と心から願いました。『(4)主の御約束に変わりは無し、みもとに行くまでささえたまわん』主の御約束の確かさと、主の変わる事の無い愛を教えられております。心を騒がせたり、いたずらに心配することは無い、という根本的な安心を教えられております。

新聖歌五〇七番「山路こえて」

三浦綾子さんの晩年の小説に『母』があります。お読みになられた方も多く居られることと思えます。この作品のモデルは、作家・小林多喜二のお母さん、セキさんです。小林多喜二は、作品「蟹工船」や「党生活者」で知られている昭和初期の優れた作家でしたが、一九三三年その思想の故に官憲に捕らえられ、東京・築地警察署で拷問によつて死にました。三〇歳の若さでした。